

单 位
用 語 集

【 単 位 】

(1) 10の整数倍を表す接頭語

倍数	記号	接頭語
10^{24}	Y	yotta (ヨタ)
10^{21}	Z	zetta (ゼタ)
10^{18}	E	exa (エクサ)
10^{15}	P	peta (ペタ)
10^{12}	T	tera (テラ)
10^9	G	giga (ギガ)
10^6	M	mega (メガ)
10^3	k	kilo (キロ)
10^2	h	hecto (ヘクト)
10	da	deca (デカ)

倍数	記号	接頭語
10^{-24}	y	yocto (ヨクト)
10^{-21}	z	zepto (ゼプト)
10^{-18}	a	atto (アト)
10^{-15}	f	femto (フェムト)
10^{-12}	p	pico (ピコ)
10^{-9}	n	nano (ナノ)
10^{-6}	μ	micro (マイクロ)
10^{-3}	m	milli (ミリ)
10^{-2}	c	centi (センチ)
10^{-1}	d	deci (デシ)

- 接頭語は一つしか使用できない。
例 $\text{mg}/\text{cm}^2 \rightarrow 10 \text{ g}/\text{m}^2$; $\text{m}\mu\text{F} \rightarrow \text{nF}$
- 正の指数をもつ単位と負の指数をもつ単位とから成る組立単位の場合には、接頭語は正の指数をもつ単位に付けることが望ましい。
例 $\text{N}/\text{mm}^2 \rightarrow \text{MN}/\text{m}^2$, $\text{A}/\text{dm}^2 \rightarrow 0.1 \text{ kA}/\text{m}^2$
- 接頭語を付した単位を用いて表しても、数値がかなり大きく（あるいは小さく）なる場合には、適当な接頭語に換えるか、あるいは接頭語を使用しない方がよい。
例 $10^{-9} \text{ cm}^2/\text{s} \rightarrow 10^{-13} \text{ m}^2/\text{s}$, $10^7/\text{cm}^2 \rightarrow 10^{11}/\text{m}^2$
- 接頭語の付いた単位は 1 グループと考え、べき指数はグループ全体に及ぶ。
例 $\text{mm}^2 = (10^{-3}\text{m})^2 = 10^{-6}\text{m}^2$, $\mu\text{s}^{-1} = (10^{-6}\text{s})^{-1} = 10^6 \text{ s}^{-1}$
- 長さの単位 (metre) と 10^{-3} を表す接頭語 (milli) とは同じ記号で示されるので、両者を混同しないように注意する必要がある。
例 mN と $\text{m} \cdot \text{N}$ ($\text{m} \cdot \text{N}$ は Nm と書けば混同されることは無い)
- 質量の基本単位は kg であるが、これに接頭語を付ける場合には k を接頭語と同等に取扱う。
例 $10^3 \text{ kg} = \text{Mg}$; $10^{-3} \text{ kg} = \text{g}$, $10^{-6} \text{ kg} = \text{mg}$

(2) 割合

名 前	記号	定 義	備 考
percent パーセント	%	$1\% = 1/100$	百分率
permill パーミル	‰	$1\text{‰} = 1/1,000$	千分率
parts per million	ppm	$1 \text{ ppm} = 1/1,000,000$	百万分率
parts per billion	ppb	$1 \text{ ppb} = 1/1,000,000,000$	10億分率

* ppm は大気汚染の濃度を表示するときなどに用いられます。

(3) 長さ

m メートル	km キロメートル	in インチ	ft フィート	yd ヤード	mile マイル
1	0.001	39.37	3.28084	1.09361	0.000621
1000	1	39370	3280.84	1093.61	0.621371
0.0254	0.000025	1	0.083332	0.027777	0.000015
0.3048	0.000305	12	1	0.333333	0.000189
0.9144	0.000914	36	3	1	0.000568
1609.344	1.60931	63360	5280	1760	1

(4) 面積

m ² 平方 メートル	a アール	km ² 平方キロ メートル	in ² 平方 インチ	ft ² 平方 フィート	yd ² 平方 ヤード	acre エーカー	mile ² 平方 マイル
1	0.01	0.000001	1550	10.7639	1.19599	0.000247	3.86E-07
100	1	0.0001	155	1076.42	119.603	0.024717	0.0000386
1000000	10000	1	-	-	1196030	247.114	0.386116
0.000645	6.45E-06	-	1	0.006944	0.000771	-	-
0.836127	0.000929	-	144	1	111111	0.0000229	-
20.1168	0.008361	0.0000008	1296	9	1	0.0002066	-
4046.86	40.686	0.004046	-	43560	4840	1	0.001562
2589990	25899.9	2.58999	-	-	-	640	1

(5) 容積

m ³ 立方 メートル	l リットル	in ³ 立方 インチ	ft ³ 立方 フィート	yd ³ 立方 ヤード	gal (UK) 英ガロン	gal (US) 米ガロン	bb1 米バレル
1	1000	61023.6	35.3147	1.30795	219.975	264.178	6.28982
0.001	1	61.0236	0.035315	0.001308	0.219969	0.264172	0.00629
1.64E-05	0.016387	1	0.000578	0.000021	0.003605	0.004329	0.000103
0.028317	28.3168	1728	1	0.037037	6.22898	7.48051	0.178107
764555	764.555	46656	27	1	168.183	201.974	4.8089
0.004546	4.54609	277.427	0.160547	0.005946	1	1.201	0.028595
0.003785	3.78541	231	0.13368	0.00495	0.832699	1	0.02381
0.158987	158.987	9702	5.61456	0.2079	34.9733	42	1

* アメリカとイギリスでは同じ呼び名の単位でも容積が違います。

* 1ℓ = 1,000cc m³ = 1,000cc = 0.001m³

(6) エネルギー

1 cal : 1グラム (体積は1CC) の水を摂氏1度だけ上昇させるのに必要な熱量。

1 J : 1ジュール(熱量)=1ボルト(電圧)×1アンペア(電流)×1秒(時間)

* 1 カロリー = 4.18605 ジュール

(7) 温室効果ガス排出係数

項目		単位	対象ガス	排出係数	対象ガス	排出係数
	石油製品(平均)	L	CO ₂	2.597 kg-CO ₂	—	—
	A重油	L	CO ₂	2.710 kg-CO ₂	—	—
	ガソリン	L	CO ₂	2.322 kg-CO ₂	—	—
	軽油	L	CO ₂	2.619 kg-CO ₂	—	—
	液体石油ガス(LPG)	Kg	CO ₂	3.000 kg-CO ₂	—	—
	※LPGの密度は2.07kg/m ³	m ³	CO ₂	6.211 kg-CO ₂	—	—
	都市ガス	m ³	CO ₂	2.080 kg-CO ₂	—	—
電気使用量(一般電気事業者)		kWh	CO ₂	0.555 kg-CO ₂	—	—
一般廃棄物 焼却量 (全量)	連続燃焼式	t	CH ₄	0.00096 kg-CH ₄	N ₂ O	0.0565 kg-N ₂ O
	准連続燃焼式	t	CH ₄	0.072 kg-CH ₄	N ₂ O	0.0534 kg-N ₂ O
	バッチ燃焼式	t	CH ₄	0.075 kg-CH ₄	N ₂ O	0.0712 kg-N ₂ O
一般廃棄物焼却量 (廃プラスチック量)		t	CO ₂	2,690 kg-CO ₂	—	—
産業廃棄物(廃プラスチック量)		t	CO ₂	2,551 kg-CO ₂	N ₂ O	0.170 kg-N ₂ O
産業廃棄物(紙くず、木くず)		t			N ₂ O	0.010 kg-N ₂ O
下水処理量		m ³	CH ₄	0.000882 kg-CH ₄	N ₂ O	0.00016 kg-N ₂ O
農耕地	水田の耕作面積	m ²	CH ₄	0.016 kg-CH ₄	—	—
家畜頭数	牛	頭	CH ₄	87.20 kg-CH ₄	N ₂ O	3.68 kg-N ₂ O
	豚	頭	CH ₄	2.020 kg-CH ₄	N ₂ O	1.25 kg-N ₂ O
	鶏	羽	CH ₄	0.038 kg-CH ₄	N ₂ O	0.0393 kg-N ₂ O

(8) 地球温暖化係数

物質名	CO ₂ (二酸化炭素)	CH ₄ (メタン)	N ₂ O (一酸化窒素)
温暖化係数	1	21	310

※排出係数：当該燃料、距離などの1当該単位当たりの活動に伴い排出されるキログラムで表した二酸化炭素の量。

※地球温暖化係数：温室効果ガスの物質ごとに地球の温暖化をもたらす程度の二酸化炭素に係わる当該程度に対する比を示す数値として国際的に認められた知見に基づき政令で定める係数。二酸化炭素の温室効果を1としたときの温室効果の強さを表にしたものです。

※電気使用量の排出係数：環境省から発表された「電気の使用に係る二酸化炭素の排出係数の見直しについて」の算定方法を用います。太田市においては東京電力の排出係数を用います。

出典：地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第三条(平成18年3月24日一部改正)環境省

【用語解説】

あ行

亜鉛 (Zn)

青白く光沢のあるもろい金属で、湿気のある空気に触れると灰白色となる。主に鉄板に亜鉛の薄膜をかぶせたトタン板や乾電池の電極などに用いられている。

悪臭物質

悪臭の原因物質は数十万種類と多種多様であるが、特に問題となるのは硫化水素等の硫黄化合物、アンモニア等の窒素化合物などである。

アスベスト (石綿)

天然に産する鉱物群の中で、高張力と柔軟性を持つ絹糸状光沢の特異な繊維状集合をなしている。建築物の耐火被覆材、保温材、吸音材、及び自動車用ブレーキ材として幅広く使用されている。固定された状態では健康障害をおこすことはないが、空気中に浮遊した繊維を長期的に吸入した場合、石綿肺・肺ガン等の障害を生じることがある。

アルキル水銀

メチル水銀など有機水銀で、水俣病の原因物質とされている。中毒になると、歩行失調や言語障害、視野狭さくなどの中枢神経障害などを起こして死亡する場合もある。

アンモニア (NH₃)

窒素と水素との化合物であり、特有の刺激臭のある無色の気体で、人体に粘膜刺激、頭痛、吐き気などの影響を及ぼす。

硫黄酸化物 (SO_x)

二酸化硫黄 (SO₂、亜硫酸ガス)、三酸化硫黄 (SO₃、無水硫酸) などの硫黄酸化物の総称で、燃料中に含まれる硫黄分の焼却に伴い発生する。また、大気中の硫黄酸化物濃度が高くなると、酸性雨やぜんそく等の呼吸器疾患を引き起こす原因となるため、環境基準が定められている。

一酸化炭素 (CO)

無色・無味・無臭の猛毒のある気体で、炭素または炭素化合物の不完全燃焼などによって生じ、中毒を起こさせることがあり、点火すると青い炎をあげて燃え二酸化炭素になる。また、体内に一定量以上吸入すると頭痛、めまい、吐き気などの症状が現れる。

一酸化窒素 (NO)

酸化窒素ともいい、無色の気体で液化しにくく空気よりやや重く、空気又は酸素に触れると直ちに赤褐色の二酸化窒素 (NO₂) に変わる。

オキシダント (O_x)

紫外線の光化学反応によって、大気中の窒素酸化物や炭化水素から発生する酸化力の強いオゾン、アルデヒド、PAN (パーオキシルナイトレイト) などの酸化性物質を総称している。また、オキシダントは、目やのどに刺激を与え頭痛を起こしたり、植物に被害を起こす。

オゾン (O₃)

光化学オキシダントの主成分の一つ。特有の臭気のある微青色の気体で、強力な酸化力を持つ酸素の同素体である。また、人体には気道粘膜の炎症、眼刺激痛などの症状を起こす。

オゾン層

地球を覆う大気の成層圏中のオゾンの多く存在する層をいう。オゾン層は、地球まで届く紫外線の大半を吸収しているが、オゾンホールと呼ばれるオゾンの薄い箇所が存在し、現在も広がっていることが報告された。オゾンホールの拡大に伴い、吸収されずに地表に届く紫外線の増大が見込まれており、皮膚ガン等人体への影響が懸念される。オゾンホールは、フロンガス等が触媒となってオゾン層中のオゾンが破壊されることでつくられるが、フロンは、安定な物質で大気中で分解されることがほとんどなく、大気中に排出されたフロンの大部分は成層圏まで到達してしまう。このため、フロンを大気中に排出しないことがオゾンホールの拡大を防ぐ最も有効な対策とされ、世界各地でフロンガス排出規制が行われている。

温暖化

地球上で発生した熱は宇宙空間に放出されているが、大気中の気体が宇宙への熱エネルギーの放散を阻害してしまうと、地表から熱が逃げにくくなり、温室の中のように次第に地表

の温度が上昇する。この現象を温室効果といい、温室効果による地球表面付近の気温の上昇は地球温暖化現象と呼ばれ、地球環境を考えるうえでの大きな問題となっている。温室効果の原因となる気体を温室効果ガスといい、その代表的なものとして二酸化炭素（CO₂）があげられる。

か行

化学的酸素要求量（COD）

水の汚濁程度を推定する方法で、水中の有機物を酸化するために要した酸化剤の量から求めた酸素量をppmで表したものである。（←→BOD）

化石燃料

石炭、石油、天然ガス等の地中に埋蔵されている燃料の総称。数百万年以前の植物やプランクトンなどが地中に埋もれ、高熱高压等の影響を受けてできたといわれている。

合併処理浄化槽

水洗式トイレの浄化槽の一つの形で、し尿だけを浄化するものを単独浄化槽といい、し尿及びその他の生活雑排水と一緒に浄化処理するものを合併浄化槽という。下水道の未整備地域などで、生活雑排水による都市河川・湖沼の水質汚濁の対策として、有効な汚水処理方法となっている。平成13年4月浄化槽法が施行され、合併浄化槽が義務となる。

カドミウム（Cd）

青みを帯びた銀白色の金属で、メッキ、顔料、電池などに用いられている。人体に有害で、長期摂取により体内に蓄積され、慢性中毒になると肺気腫、骨変化、腎臓、胃腸、肝臓などに障害を起こす。

環境影響評価（環境アセスメント）

開発が環境に及ぼす影響の内容と程度および環境保全対策について事前に予測と評価を行い、保全上必要な措置の検討をすること。

環境ホルモン

動物の生体内に取り込まれた場合、生体内で正常に営まれているホルモン作用に影響を与える化学物質。特にホルモン作用を攪乱することにより生殖機能を阻害したり、悪性腫瘍を引き起こすなどの影響を及ぼす可能性があるとして指摘されている。

環境基準

人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準で、公害防止に関する行政上の諸施策を実施するうえでの達成目標となるもの。大気・水質・騒音・土壌について環境基準値が設定されている。（←→規制基準）

環境審議会

環境の保全に関して基本的事項を調査審議するため、学識経験者や各部門を代表する者で組織する審議会。

規制基準

工場等から排出するばい煙、排水及び発生する騒音等について守らなければならない基準で、法律や条例で定められたもの。また、人体に影響を及ぼす限界あるいは農作物などへの影響を及ぼす限界を基礎として定めている。（←→環境基準）

クロム（Cr）・6価クロム（Cr⁶⁺）

日用品や装飾品をはじめとするメッキに広く使用されている。水溶性のクロム化合物のうち、3価クロムは毒性が低いが、6価クロムは猛毒である。摂取し続けることで肝臓、腎臓、脾臓等に蓄積され機能低下を起こし、大量に摂取すると嘔吐、頭痛、けいれん等を起こし死に至ることもある。

公害防止協定

公害をすでに発生させている企業あるいは発生させる恐れのある企業、地方自治体や自治会等が、地域の実情を踏まえ、企業と公害防止のため必要な措置をとりきめることをいう。現在、法律や条例と並ぶ公害行政上有効な手法として広く利用されている。

光化学オキシダント

自動車の排気ガス等に含まれる窒素酸化物とガス状の炭化水素が太陽光線の紫外線により化学反応をおこし、光化学オキシダントを作る。特に春から夏にかけて、日照が強く、気温の高

い日や風速が弱く視程が悪い状態の時に発生する。光化学オキシダントが発生すると、植物への被害、目や呼吸器に刺激を与え頭痛をおこしたりする。

交通結節点

異なる交通手段（場合によっては同じ交通手段）を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。具体的な施設としては、駅前広場やバス交通広場、歩道などが上げられる。

コンポスト

園芸用培養土か配合土、または堆肥のこと。生ごみ処理機を用いてごみの減量化を目的とする。

- ・コンポスター（生ごみ処理槽）は、地中の微生物の活動を利用して生ごみを分解する容器をいう。
- ・電気式処理機（生ごみ処理機器）は、生ごみを機械等を利用し、乾燥、発酵などの処理を行い減量化、堆肥化することができる機器をいう。
- ・EM処理容器（生ごみ処理容器）は、微生物を利用し発酵分解し、堆肥化を目的として製造された発酵用資材及び専用容器の一体をいう。

公共用水域

河川、湖沼、港湾、沿岸海域、その他公共の用に供される水域及びこれに接続する公共溝渠、かんがい用水路、その他公共の用に供される水域（終末処理場を有する公共下水道及び流域下水道を除く）のことです。

さ行

重金属

比重4.0以上の金属のこと。水銀、カドミウム、鉛等の毒性の強いものが多い。

酸性雨

大気中に存在する硫黄酸化物、窒素酸化物等が気温、湿度、チリ等の影響で、硫酸イオン、硝酸イオンなどに変化し、強い酸性（p h 5.6以下）をおびた雨水、霧等として降下する現象のこと。自然はわずかな酸性（p h 6.5～5.6程度）であるため、p h 5.6以上の雨は酸性であっても酸性雨とはしない。

三点比較式臭袋法

人間の嗅覚を使って悪臭を測定する官能試験法。ガスクロマトグラフ等の機器測定が臭気の成分に着目し成分濃度を表すのに対し、この方法では臭気全体の強さを、臭気を感じなくなるまでの希釈倍数で表す。

シアン（CN）

青酸及びその化合物の総称。メッキ工場等の青酸化合物を使用する事業場からの廃液などに含まれており、人の致死量は0.06g程度といわれる。致死量摂取後、数秒で中毒症状があらわれ死に至る猛毒である。

シックハウス症候群

新築・改築後の住宅やビルにおいて、室内の空気が汚染され、居住者に“アタマがくらくらする、咳が出る、涙目になる”等の体調不良が生じることを「シックハウス症候群」という。このような「シックハウス症候群」を引き起こす原因は、VOCs（揮発性有機化合物）といわれる、化学物質であるとされ、室内汚染の原因化学物質は、接着剤・防腐剤・溶剤・合板・畳などあらゆる製品から放出される恐れがある。

臭気パネル

三点比較式臭袋法による悪臭測定をするときの臭気嗅覚者のことをいう。スクリーニングテストに合格した嗅力の正常な者10名が登録されており、この内の6名を招集して悪臭測定を行う。

振動レベル

振動計で測定される値（振動加速度レベル）を人間の感覚に近付けるために振動感覚特性の補正を加えたもの。振動計の指示値であり、公害関連では鉛直振動特性を用いる。

水銀（Hg）

銀白色の常温で液体である唯一の金属。また、有害な公害物質の一つで蒸気を吸収したり、皮膚から吸収したりすると中毒を起こす。さらに危険なものは有機水銀で金属水銀の約10倍

の毒性がある。有機水銀は、水俣病の原因物質とされる。

生物化学的酸素要求量 (BOD)

水中の有機物は、好気性微生物によって酸化分解され無害なものとなるが、その際に微生物が必要とした酸素の量。実際は、酸素飽和した水で希釈した検水を密閉容器に入れ20℃で5日間放置し、減少した酸素量から求める。(↔COD)

騒音レベル (音圧レベル)

耳の感覚と音圧との関係が周波数により異なるため、一定の規約のもとで周波数ごとの補正をして測定した音の大きさ。単位はdB (デシベル)。

総水銀 (T-Hg)

水銀による汚染状況を示す測定項目の名称である。検体に含まれる水銀又は水銀化合物の両者を合わせて、金属水銀の量としていくらか分析したものを総水銀値 (量) としている。

た行

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン (PCDD) とポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) とコプラナーポリ塩化ビフェニルの総称で、化学物質の合成過程や燃焼過程などの際に非意図的に生成される。また、環境中で極めて安定で毒性が強く、多くの異性体が存在し、異性体ごとにその毒性は異なる。

大腸菌群数

大腸菌又は、これとよく似た性質を持った菌の総称。これが検出されるということは、その水が人畜の糞尿で汚染されていることを意味し、同時に消化器系の病原菌等によって汚染されている可能性を表している。

炭化水素 (HC)

炭素と水素からなる有機化合物の総称で、主な発生源は自動車、有機溶剤排出工場等である。また、大気中の濃度が高くなると粘膜が刺激される。

炭素換算

温室効果を持つ二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄のそれぞれの温室効果ガスに、気候変動に関する政府間パネル第2次評価報告書で定められた地球温暖化係数 (温室効果ガスの温室効果をもたらす程度を、二酸化炭素の当該程度に対する比で示した係数) を乗じた二酸化炭素換算での総排出量のことをいう。

窒素酸化物 (NOx)

焼却過程に伴って燃料中に含まれる窒素や空気中の窒素が酸化されて一酸化窒素 (NO) が生成する。これは空気中で徐々に酸化され二酸化窒素 (NO₂) に変化する。窒素酸化物はそれ自体有害で、高濃度で呼吸障害を引き起こし、炭化水素と結びついて光化学オキシダントを生成する。主な発生源は、自動車排出ガス、ボイラー等である。

低公害車

電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、水素自動車などをいう。それぞれ燃料が電気や天然ガスであり、ガソリン自動車に比べて大気中の窒素酸化物など大気汚染物質の排出が少ないため、低公害の自動車とされている。

典型7公害

大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下をいう。

特定建設作業

くい打機、びょう打機等を使用する作業等、著しい騒音、振動が発生する建設作業のうち騒音規制法振動規制法等で規制の対象としているもの。

特定施設

公害法令で規制の対象となっている施設で、種類、規模別に定められている。特定施設を設置する場合は所定の届出が必要で、これらの施設を有する工場を特定工場という。

特定粉じん排出等作業

吹付け石綿 (アスベスト) が使用されている建築物の解体作業等のうち、大気汚染防止法に

より定められた規模以上の建設工事をいう。届出の対象となっており、作業基準が設けられている。

な行

鉛 (P b)

融点が低く、非常に軟らかく加工しやすい、耐蝕性に富んだ金属。他の重金属と同様に有毒で蓄積性がある。人体に入ると血液を造る骨盤神経組織を冒す。

野焼き

一般には、野の枯れ草を焼くことをいうが、ここでは廃棄物の露天での不適燃焼を指す。

は行

ばい煙

大気汚染防止法では次のとおり規定している。

- ① 燃料その他の物の焼却に伴い発生する硫黄酸化物、ばいじん。
- ② 物の焼却、合成、分解その他の処理に伴い発生する物質のうち、カドミウム、塩素、塩化水素弗素、弗化水素、弗化硅素、鉛、窒素酸化物などの有害物質。

ばいじん

いわゆる「スス」のこと。燃料その他の可燃性物質の燃焼や高温加熱反応の行われている電気炉の使用行程において、分解、脱水素、重合、酸化などの複雑な反応の中間生生物として発生する遊離炭素である。

BOD (生物化学的酸素要求量)

水中の微生物により有機物が酸化・分解される時に消費される酸素の量 (mg/l)。BOD値が大きいほど水中の汚濁物質 (有機物) が多く、水の汚濁が高いことを示す。

ビオトープ

野生生物が生息する空間のことであるが、生態系として捉えることのできる最小の地理的単位を意味することもある。生物を意味するビオ (B i o) と場所を意味するトープ (T o p e) を合成したドイツ語。

ヒ素化合物 (A S)

殺虫剤などに用いられており猛毒である。中毒になると発疹、頭痛、血尿等の症状が現れ、種々の神経障害を起こす。水道水における許容濃度は0.05 ppm以下とされる。

ppm

100万分の1を表す単位で、ごく微量の物質の濃度を表すのに用いられている。1 ppmとは、1 m³の空气中に1 cm³、1 リットルの水の中に1 mgの物質が含まれていることをいう。また、さらにごく微量の物質の濃度を表す場合には、ppmの1000分の1であるppbという単位を用いる。

ppb

10億分の1を表す単位で、ごく微量の物質の濃度を表すのに用いられている。1 ppbとは1 m³の空气中に0.001 cm³、1 リットルの水の中に0.001 mgの物質が含まれていることをいう。ppmの1000分の1の単位。

浮遊物質 (SS)

水中に浮遊する懸濁物の総称です。浮遊物質の量が多くなると、水が濁り、光の透過を妨げ、水域の自浄作用を阻害したり、魚類の呼吸等に悪影響を及ぼします。

浮遊粒子状物質

大気中に風等で巻きあげられ浮遊している固体粒子状物質のこと。特に環境基準の定められている粒径が10 μm (1/1, 000mm) 以下のものは自分の重さでは落下しにくく、大気中に長期間浮遊するため、高濃度地域ではぜんそくなどの悪影響を及ぼす場合もある。

フロン

フロンの性質として①無色透明・無臭②毒性がほとんど無い③引火爆発しない④熱に対して安定し、容易に分解できない⑤化学的に不活性で、機械油等とは反応せず、腐食性もない⑥熱伝導性が低く、断熱性に優れている。このような性質を利用して、建築用の断熱材・ウレタンフォーム・食品包装用トレイ等の製造時の発泡剤、冷蔵庫・エアコンの冷却剤、スプレー

の噴射剤、I C等の電子部品の洗浄剤等、幅広く使用されてきました。このようにフロンは産業活動や日常生活にとって、非常に便利な物質でしたが、地球のオゾン層を破壊することが判明したために、国連環境計画を中心として国際的な対策の取り組みが行われるようになった。

粉じん

ベルトコンベア、破砕機、ふるい、堆積物の風による飛散等により発生する大気中に拡散した固体粒子をいう。

PH（水素イオン濃度）

液体が酸性であるかアルカリ性であるかを示す数値でp H 7が中性で、それより数値が大きければアルカリ性、小さければ酸性である。p H 6～8の間にあることが望ましい。

ま行

マンガン（Mn）

地殻中に存在する生物には必須元素の一種であるが、マンガンの製造、粉末マンガン塩類を製造するとき、マンガン鉱（褐色MnO₂）により中毒を起こすことがあり、慢性神経症（マンガン病）になるが、マンガンによる職業的中毒の例は比較的少ない。マンガン塩による中毒については不明である。

や行

有機塩素化合物（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン）

これらの物質は、優れた脱脂、洗浄作用があり、機械加工部品の洗浄、ドライクリーニング作業等に使用されている。体内に蓄積すると、肝、腎臓障害や中枢神経障害を起こし、発ガン性の疑いもある。

溶存酸素（DO）

水中に溶けている分子状酸素のこと。水中に有機物が増えてくると、それを酸化するために酸素が消費されるのでDOは減る。限度以上にDOが減ると魚介類は窒息死してしまう。

用途地域

都市計画法により、市街化区域の土地利用を制限するために指定された地域。第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、工業専用地域がある。また、こうした地域を定めず、主に農業等の保全のため、当分の間市街化を抑制する区域を市街化調整区域という。

ら行

六価クロム（Cr⁶⁺）

クロム酸、クロム酸カリ、クロム酸ソーダ、重クロム酸カリ、重クロム酸ソーダなどがある。これらのものが水に溶解すると六価クロムイオンを生じ、毒性を呈する毒性の強さは三価クロムイオンよりも強い。

レッドデータブック

絶滅のおそれのある野生生物の種をリストアップし、その生育状況を解説した資料集である。国際的には、国際自然保護連合（I CUN）が1966年に刊行した。わが国では、平成3年に環境庁が「日本の絶滅のおそれのある野生生物（脊椎動物編）、（無脊椎動物編）」を作成し、現在、改訂中である。また、植物版のレッドデータブックとしては、平成元年に（財）日本自然保護協会と（財）世界自然保護基金日本委員会が作成した「我が国における保護上重要な植物種の現状」がある。

わ行

Wh（ワット・アワー）

電力量を表す単位。電力量とは、電流によってなされる仕事の量（エネルギー量のこと）で、その単位として、ワット・アワー（Wh）が用いられる。これは1Wの電力を1時間（1h）使用した場合の電力量のことです。電力量の大きさは電力と使った時間の積（せき）で次の様にあらわされます。電力量(Wh)=電力(W)×時間(h)